



2020年5月1日

各 位

会社名 JALCO ホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 田辺 順一  
 (JASDAQ・コード6625)  
 問合せ先  
 役職・氏名 管理本部長 松島 正道  
 電話 050-5536-9824

## 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）通期決算におきまして、2019年5月10日に公表いたしました2020年3月期の連結業績予想について修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結業績予想の修正

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

（単位：百万円）

|                         | 売上高   | 営業利益   | 経常利益   | 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|-------------------------|-------|--------|--------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想（A）               | 1,750 | 1,250  | 1,000  | 800                     | 9円35銭          |
| 今回修正予想（B）               | 1,724 | 1,069  | 613    | 565                     | ※6円61銭         |
| 増減額（B－A）                | △26   | △181   | △387   | △235                    | －              |
| 増減率（％）                  | △1.5% | △14.5% | △38.7% | △29.4%                  | －              |
| （ご参考）前期実績<br>（2019年3月期） | 1,158 | 643    | 433    | 408                     | 6円55銭          |

※今回修正予想（B）における1株当たり四半期純利益につきましては、第3回新株予約権の権利行使に伴う新株式の発行による増加後の発行済株式総数86,598,018株を基に算出した期中平均株式数によるものであります。

#### 2. 修正の内訳金額と修正理由

##### 2-1 修正の内訳金額（①②③合計3.51億円）

##### ① 賃貸不動産取得不足と取得時期のズレによる逸失利益

上期：想定50億円⇒実績10億円 取得不足40億円×6.5%（NOI）×9/12（賃料収入見込み期間）=1.95億円  
 下期：想定50億円⇒実績46億円 取得不足4億円×6.5%（NOI）×3/12（賃料収入見込み期間）=0.07億円

##### ② 貸金事業の逸失利益

通期想定残高40億円⇒実績30億円 残高不足10億円×12.11%（貸金実績利率）=1.21億円

##### ③ 自己資本不足を補うための調達コストの増加

全額自己資本の想定⇒6.25億円を外部調達 6.25億円×4.4%=0.28億円の支払利息

## 2-2 修正理由

### ① 新株予約権の行使が想定よりも進まなかったため

当初、自己資本にて想定していた調達を他人資本にて代用したことにより、金利差額分だけ営業外費用が増加しました。

### ② 長期賃貸不動産の取得が「結果的に」下期に偏ったため

資産の取得におきましては、「売り物」を常時複数（実際の買い物件の10倍程度）検討しており、中には取得想定価額が当社の合格水準に達していたとしても、さらに安く購入できる可能性のある限り（他社の BID が入る、またはウリ案件でなくなってしまう）、限界まで交渉することで極限まで株主の利益を追求しております。

従って、仮に取得時期が想定よりも大幅に遅れ、かつ一時的な金融コストがかかっても値下がり幅がそれらの負をはるかに上回る経済合理性があれば、今期のように取得時期の遅れによって逸失利益が発生することもあります。

### ③ お客様（債務者）の借入ニーズに応えるために、エクイティ不足分を外部借入により賄ったため

既存の優良顧客の強い借入ニーズがあり、当社の与信判断が「可」であり、かつ経済合理性が株主にとって大きいと判断した場合には、当初の調達手段（エクイティ調達）に代えて臨時の外部借入によって貸金の資金を賄うことがあります。

## 3. 二度と株主様の信用を失わないための改善点

### 3-1 決算短信の業績予想の基準の変更

- ・4月期首の資産を基準にして、それを一年間運用する前提で業績予想を作成します。
- ・新規案件獲得と新たな資金調達を一切織り込みません。

### 3-2 タイムリーに業績の変化をお伝えする手段

- ・不動産の取得案件が発生した場合は、保有不動産を一年間のペースで運用した場合の NOI を都度開示いたします。

### 3-3 中長期の当社の予算の提示

- ・第一次中期経営計画の最終年度となったため、5月中に第二次中期経営計画（2020.4～2023.3末）の発表をします。これが本来の当社の予算数値となります。
- ・不動産・貸金以外に不動産投資部門の回収予測や新規事業についても、レンジの提示を含んだ内容の経営計画となります。

## 4. 新型コロナの影響について

2020年3月期業績予想および当社事業に対する影響はないと考えております。

ご注意：本資料に記載しております業績に関する予想数値は、いずれも本資料の発表時現在において入手可能な情報による判断及び仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合がありますので予めご承知ください。